

深掘り！ 保険用語

〈73〉

株式会社ウインライフ



小野 力

E-mail: tsutom_ono@maia.eonet.ne.jp

保険代理店も設定機会減る

東京海上日動は質権設定禁止特約も

前回は続き、火災保険 ニッキンに掲載されました。「質権設定」について。保険代理店の目線でも質権設定を求められる機会が随分減っている。2005年12月、「住宅ローン火災保険、質権省略」の動き加速、地銀・第二地銀23行が実施。『質権設定者、保険会社、確定日付請求のため』という記事が金融専門紙に載りました。

「理由①」質権設定に関する事務負担が重荷。『質権設定された保険証券は銀行が保管し、回収するケースが極めて少ない。』

「理由②」保険金で債権回収が緊急な事態となつている特別な場合以外に質権の行使は「絶無」といわれています。

「理由③」最高裁判例の「物上代位」という効力があります。物上代位とは、担保の目的物が金銭や他の請求権に形を変えた場合、その金銭や請求権に債権の効力を及ぼすこととされています。判決・通説によると、債権請求権にも物上代位の効力が及びます。この効力がいつでも通用するわけではありません。

加速する「質権設定省略」への動き

す。保険期間は長いものだけで30年以上、保管コストだけでも膨大です。また、2015年から火災保険の保険期間が最長10年に短縮されたため一層事務負担が重くなります。

「理由④」最高裁判例の「物上代位」という効力があります。物上代位とは、担保の目的物が金銭や他の請求権に形を変えた場合、その金銭や請求権に債権の効力を及ぼすこととされています。判決・通説によると、債権請求権にも物上代位の効力が及びます。この効力がいつでも通用するわけではありません。

「理由⑤」最高裁判例の「物上代位」という効力があります。物上代位とは、担保の目的物が金銭や他の請求権に形を変えた場合、その金銭や請求権に債権の効力を及ぼすこととされています。判決・通説によると、債権請求権にも物上代位の効力が及びます。この効力がいつでも通用するわけではありません。

「理由⑥」最高裁判例の「物上代位」という効力があります。物上代位とは、担保の目的物が金銭や他の請求権に形を変えた場合、その金銭や請求権に債権の効力を及ぼすこととされています。判決・通説によると、債権請求権にも物上代位の効力が及びます。この効力がいつでも通用するわけではありません。

新日本保険新聞

「感謝する営業」「引き寄せる営業」

今日はお客様との繋がりを深く感じる最強トクのお話です。大河ドラマを用いて話をすすめていこうと思いきや、独断と偏見で、真田幸村を描いた「真田丸」で説明いたします(笑)。

幸村45年間の生涯を描く中で、なぜ徳川家康と徹底対抗したのか。六文銭の旗印に込められた想いは？ 圧倒的不利な状況から家康を切腹寸前まで追い込んだ大坂の陣での武勇伝など、脚本家の三谷幸喜氏が、随所に散りばめる演出に魅了され、僕も見事に、真田幸村に「引き寄せ」られたのです。

もちろん幸村のことは知っていました。テストに出るからと「押し付け」られて学んだ知識。当時の『お勉強』に、ステキなエピソードが添えられているはずもなく、魅了されることはありませんでした。

営業素人からTOTへ！
真似して伸びる
暗記営業のススメ

有限会社ミライズ 片岡隆太 -73-

問い合わせ先E-mail: info@mi-rise.com

ええせん。最近「引き寄せる営業」とか「お金を引き寄せる」とか「お金を引き寄せる」とか、違和感なくこのコトバが溢れてきました。私も引き寄せがテーマの本を多く読んできたのですが、ほとんどの本の冒頭に、「引き寄せは感謝から始まる」と。そう、キーワードは「感謝」なのです。

「感謝を語るにあたり、強烈に思い出さずエピソードがあります。それは普通の友人の結婚式で、100万部を超えるベストセラー作家が発表したスピーチがきっかけとなりました。結婚式は純粋な感謝が行き交う場。残念ながら、私たちが日常で、純粋な感謝を受けていないように思う。コンビニで「ありがとう」を言われても、うれしいと思う人は少ないことでしょう。

「感謝する営業」引き寄せる営業。いかがですか？ 「感謝の気持ち」湧き起りますか？

「これから伸びるのは、損保系」

「これから伸びるのは、損保系」

「これから伸びるのは、損保系」

「これから伸びるのは、損保系」

奮闘！ 新米支社長

西川 新一 <88>

1年の4分の1通過点となる6月成績は、女性営業社員が仕込んだ月末案件の短時間契約が突っ立った点、景気上向きによる住宅購入での火災保険の追い風で、決して満足とはいえないものの想定を上回る売上に到達し喜を閉じた。過去と異なる「女性営業社員育成」を課せられた本年度の出足としては、最悪なスタートをまずは免れたと言える。

これまでのような男性社会ではある種自然に受け入れられていた慣習は、腑に落ちた理由で合理的に動く特徴を持つ女性社員には通用しない。動き方改革、かつ、安倍政権下で女性が社会の中心で活躍する今、単純なトップダウン指示で修めた管理スキルでは、成果が上がらないことも痛感する3か月であった。

若い営業社員の自主性を尊重する方針で運営した3か月ながら、他の支社は大都会の中堅社員中心であり、ダイナミックな活動で大型契約を束ねる彼らとの獲得数字を比較されては、勝ち目が無いとも思い知らされた第一四半期であった。さすがに過去の組織のように毎日がむしやりに気力を振り絞ることも疲れを感じていた。若手の穏やかなパワーだけでは、最下位が確実なだけに、若手営業社員への自主性を容認し見守る体制を基本としながら、並行して即効性ある数字獲得に奔走する毎日が続いた。

そのような体制下で、6月末の及第点を辛うじてクリアしたこと、改めて「部下を信頼し、組織成績が上がらない時でも、部下達に仕事を任せ辛抱すること、部下の成長を促す」ことに繋がることを痛感した。

この3か月、部下の自主自立を促すために、これまで以上に朝礼に取る時間を長く設定し、過去実施していなかった試みとして上司が席を外し、部下達だけでの会話を待つ時間を設定してみたのだ。

当初の4月は、部下達だけの会話は非効率かつ無駄だらけの内容であったが、権限移譲と託す精神を変えずに臨んだ。その後は、部下達だけの朝礼が、日増しに高度に変化し、上司からの指示が出ない限り典型的な指示待ち族であった彼女達も、責任を付与しルール通りに接することで、自己解決能力が増していった。

街中をいきいきと闊歩する若い部下達が、日進月歩で力を付け成長し逞さを増す姿を実感し、10年後の日本を生きるビジネスマンに成長している姿を想像すると、改めて人を育成することの喜びを感じたのであった。

部下達だけの朝礼が日々進歩

責任の付与で増した自己解決能力

「責任の付与で増した自己解決能力」

「責任の付与で増した自己解決能力」

「責任の付与で増した自己解決能力」